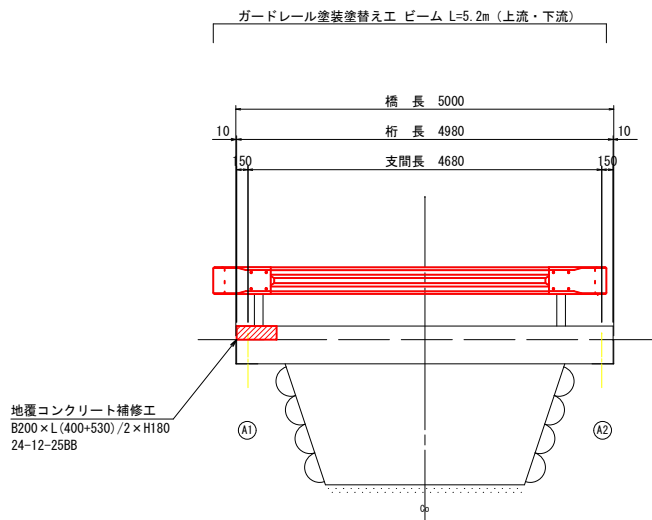


大井橋 修繕工一般図

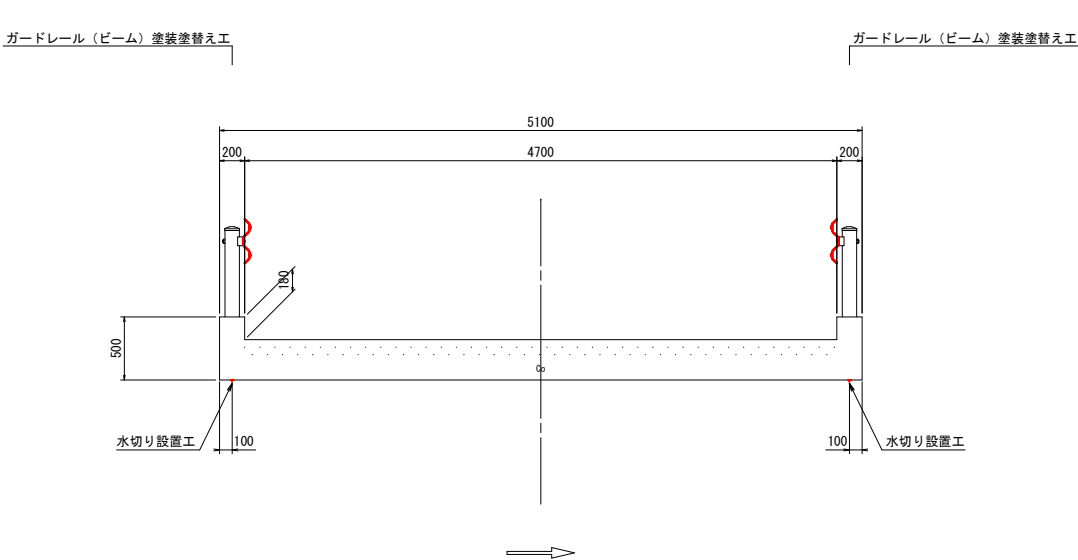
側面図

S=1:50



断面図

S=1:30

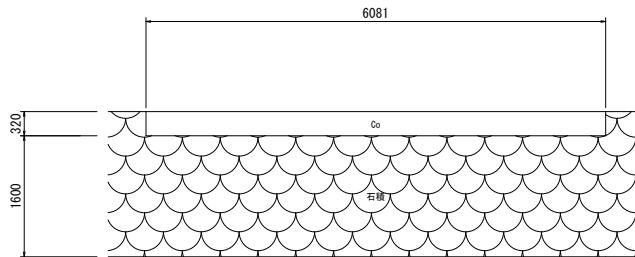


設計条件

大井橋	橋格	-
	上部工形式	単純RC床版
	橋長	5.000m
	桁長	4.980m
	支間長	4.680m
	全幅員	5.100m
	有効幅員	4.700m
	斜角	$\theta=57^{\circ}00'$
	床版	鉄筋コンクリート床版
	舗装	コンクリート舗装
大井橋	支承	-
	橋台	-
	橋脚	-
大井橋	基礎	直接基礎

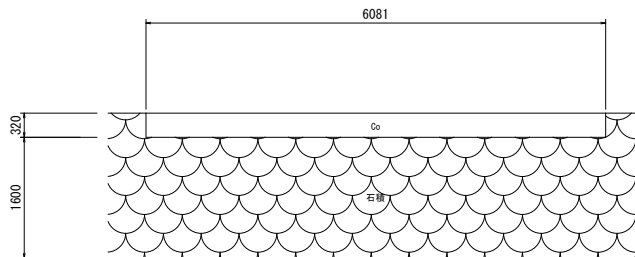
正面図

(A1側) S=1:50



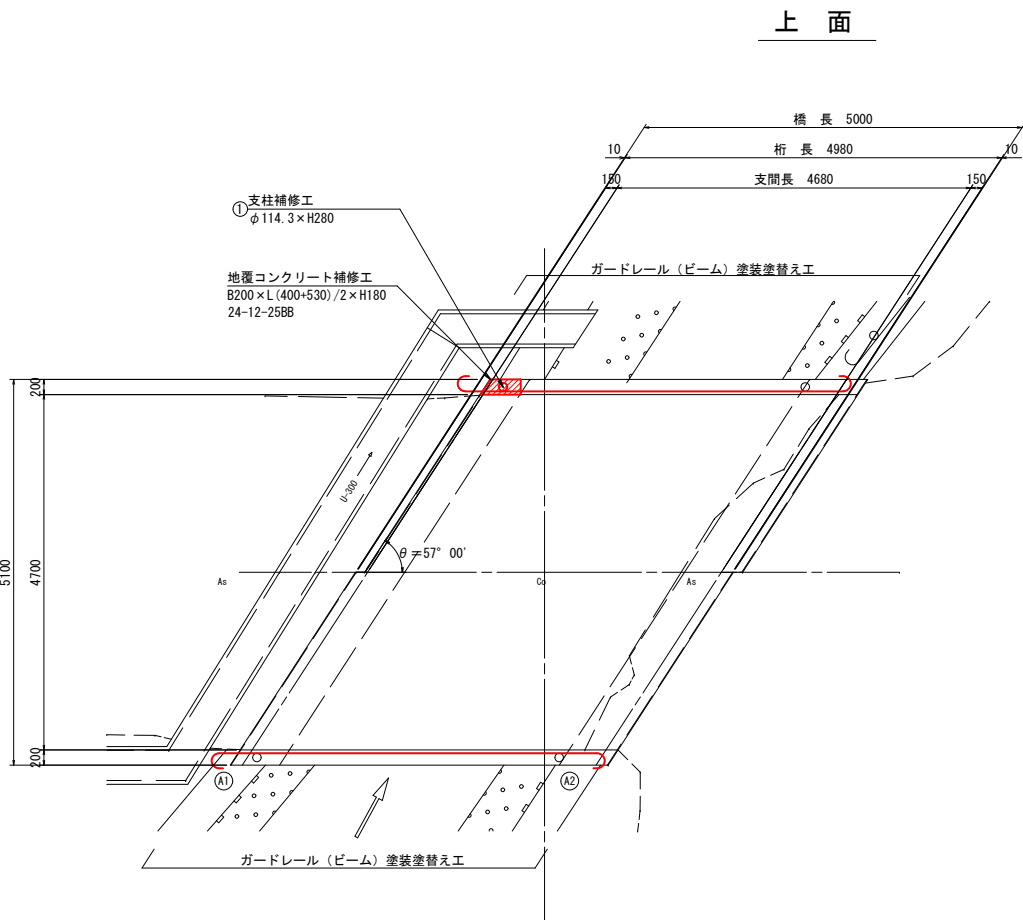
正面図

(A2側) S=1:50

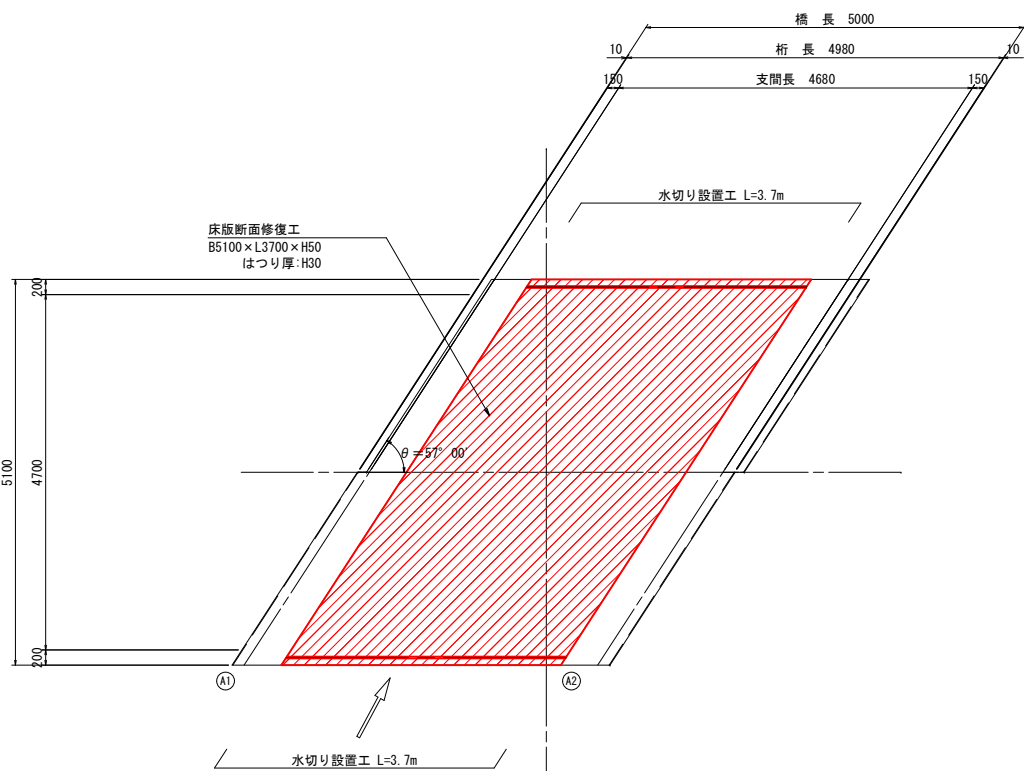


平面図

S=1:50



下面



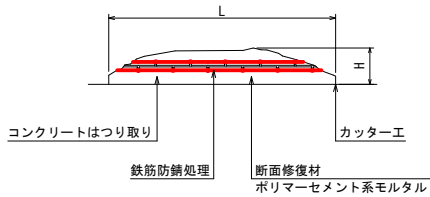
注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

【市道 大井線】

工事名	令和3年度 第2A1次001号 道路メンテナンス事業 大井橋 橋梁修繕工事		
図面名	修繕工一般図		
工事場所	大王町 波切 地内		
尺度	図示	図面番号	2 葉之内 1
会社名			
事務所名	志摩市		

修繕工詳細図

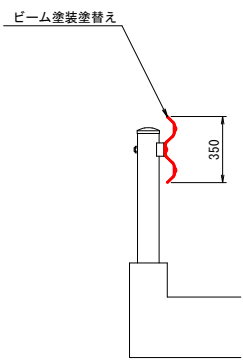
断面修復工詳細図



- ※ 断面修復については補修箇所の周囲にコンクリートカッターを使用すること。
なお、コンクリートカッター使用時に鉄筋を切断しないようにすること。
- ※ 断面損傷部の補修においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
- ※ 鉄筋防錆処理について
カップワイヤー等で十分に鉄筋をケレンした後、水洗いを行い下地及び鉄筋を清掃する。
防錆材は鉄筋に均一に塗布する。
- ※ 本工事は乾式吹付工法を基本とするが、必要に応じて左官工法を併用すること。

ガードレール塗装塗替え工

S=1:20

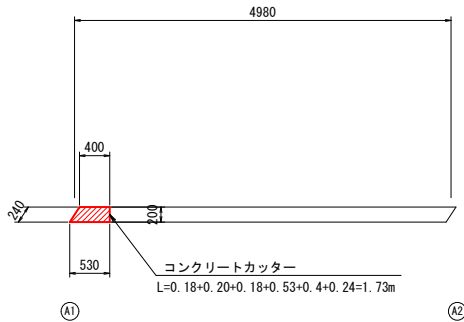


塗装塗替え工

上流側	L= 5.20m	塗装面積	0.84 m2/m
下流側	L= 5.20m	塗装面積	0.84 m2/m

平面図

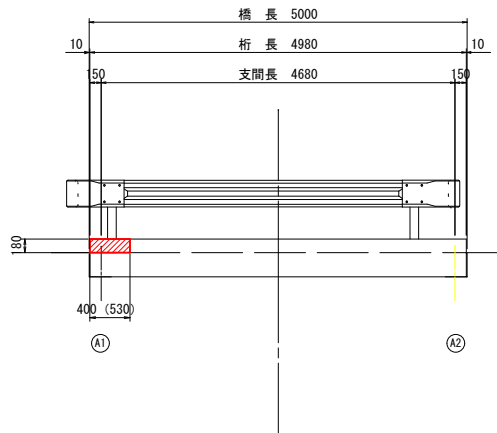
(下流側) S=1:50



地覆コンクリート補修工

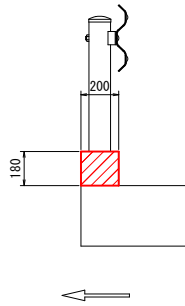
側面図

(下流側) S=1:50



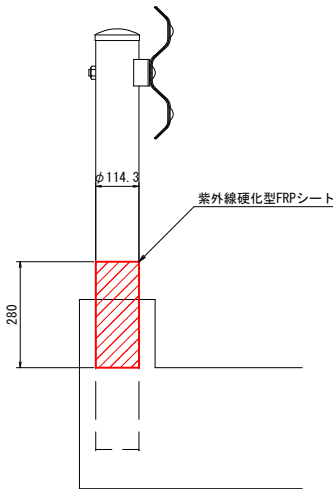
断面図

S=1:20

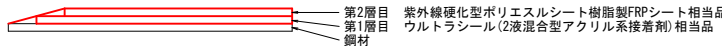


支柱補修工詳細図

S=1:10

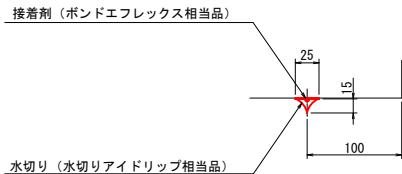


FRPシート詳細図



水切り設置工詳細図

S=1:4



- 注記 1) : 各種修復においては、施工前に詳細調査を行い、施工位置・寸法を確認すること。
施工位置・寸法が現状と不適合と判断される場合には、別途監督員と協議をすること。
- 2) : 各種修復においては、既設鉄筋を切断しないようにすること。

【市道 大井線】				
工事名	令和3年度 第2A1次001号 道路メンテナンス事業 大井橋 橋梁修繕工事			
図面名	修繕工一般図			
工事場所	大王町 波切 地内			
尺度	図示	図面番号	2	葉之内 2
会社名				
事務所名	志 摩 市			